nichicon

コンデンサ自動制御装置

負荷変動に応じて自動的にコンデンサを開閉するコンデンサ自動制御装置を使用すると、
- 常に高力率を維持して電力損失を低減し電気料金が節約できます。
- 自動調整で省力化できます。
- 電圧を安定化し、機器の過負荷を防ぎます。

無効電力・力率検出方式コンデンサ自動力率調整器（等容量、異容量6群用）CASQDL356A

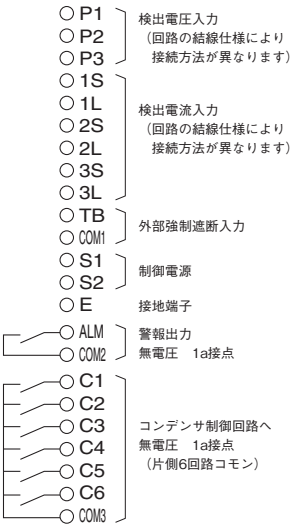
特 長

1. 小形・軽量（DIN 144×144）です。
2. 三相3線回路平衡負荷・不平衡負荷・三相4線回路、単相2線回路の何れの回路にも使用できます。
3. 制御電圧がAC100～220 V、DC100～110 Vの何れの回路にも使用できます。
4. 用途や目的に応じて、等容量制御・異容量制御・マルチステップ制御・優先制御の4種類の制御が選択可能です。
5. 等容量制御においては、力率制御方式と無効電力制御方式の2種類の制御が選択可能です。
6. 設定値が半永久的に保存できます。
7. キー操作で三相電流、三相電圧、有効電力、無効電力、皮相電力、力率の計測表示が可能です。
8. 外部強制遮断機能により、外部からの信号でコンデンサを遮断できます。

定格仕様

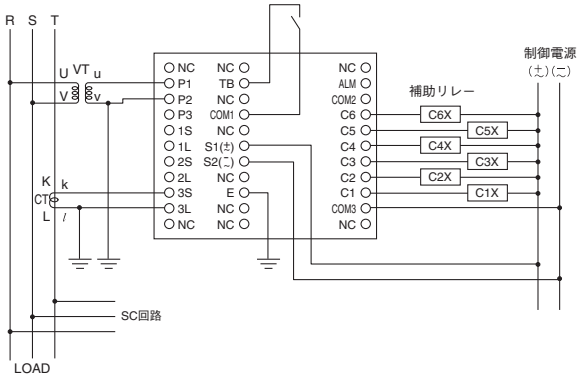
品　　番	CASQDL356A
入力電圧	単相2線、三相3線：　AC110～220 V 0.25～0.5 VA 三相4線：AC110 V / √3,　0.15 VA
入力電流	5A,　0.1 VA
入力周波数	50 / 60 Hz
操作電源	AC 100～220 V, 15～22 VA DC100～110 V, 13 W
出力容量	AC250 V, 2 A（cosφ=0.4） DC110 V, 0.1 A（L/R=7 ms）
制御段数	1～6群
応答時間	1分 / 2分 / 3分 / 4分 / 5分 / 6分 / 7分
検出時間	1サイクル
保護構造	IP30
使用温度	−10～+55 ℃
保存温度	−20～+70 ℃
使用湿度	30～90 %RH　結露のないこと
標　　高	1000 m 以下
本体枠	マンセル　N1.5
質　　量	1.0 kg

端子台

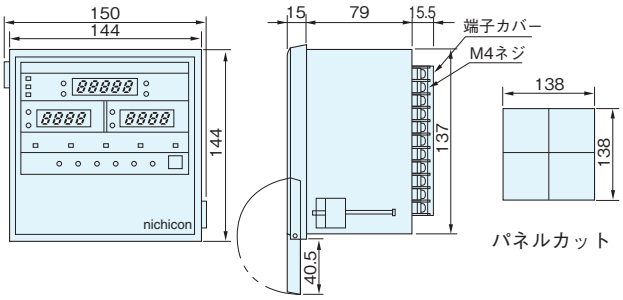


※1. 配線や接続を行う時は、取扱説明書内容に従い行ってください。
※2. NCは空き端子となっています。

接続図（3 φ3 W 平衡負荷の場合）



外形図（mm）



ご使用上の注意

等容量制御および異容量制御方式以外で使用する場合、動作設定は力率制御方式としてください。

コンデンサ自動制御装置

軽負荷時における進相コンデンサの過剰投入による系統電圧の電圧上昇対策のためコンデンサ自動制御装置による対策要求が増えています。本装置は、小規模需要家での小群数のコンデンサ制御のために最適なコンデンサ制御を可能にします。

負荷電流検出方式コンデンサ自動制御装置（2群用）
CASACE352A

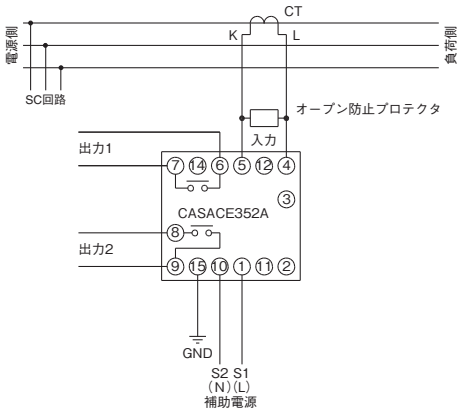
特 長

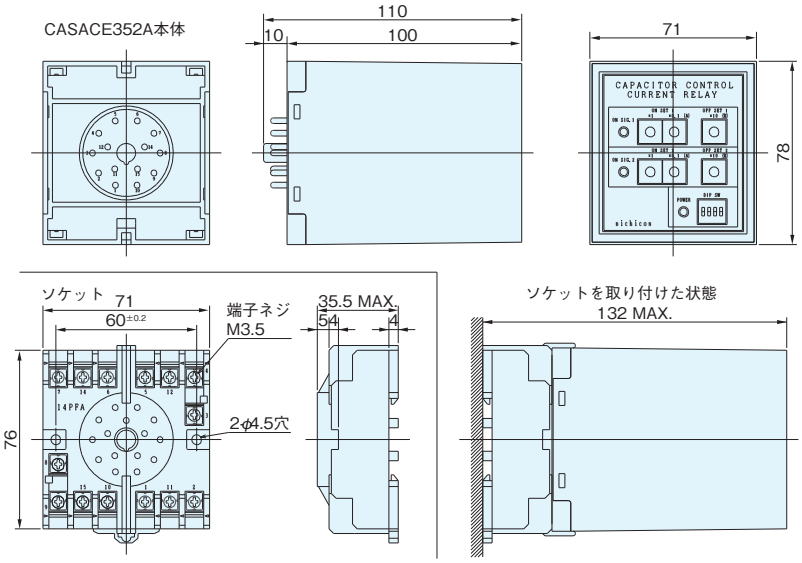
1. 負荷電流を検出し、負荷の運転に合わせてコンデンサの開閉を制御します。
2. 少数群（1～2群）のコンデンサでは力率に対する細やかな制御が困難であるため、負荷の運転に応じた電流制御でも十分なコンデンサ制御が可能です。
3. 電流入力だけで制御が可能なため設置が容易です。
4. 2 群以下のコンデンサに対して低コストで最適な制御を実現できます。
5. 手動投入スイッチ付で手動制御操作時にも応答時間設定が有効で、手動操作時における操作ミスを防止します。

定格仕様

品　　番	CASACE352A
入 力 電 流	AC 5 A,　0.5 VA
入力周波数	50 / 60 Hz
補 助 電 源	AC 80 V～264 V
制 御 群 数	1～2群
投 入 設 定	0.1～5.0 A
引き外し設定	投入設定値の10～90 %
応 答 時 間	3分 / 5分
保 護 構 造	IP20
使 用 温 度	−10～+55 ℃
保 存 温 度	−30～+70 ℃
相 対 湿 度	30～85 %
標　　高	1000m以下
質　　量	500 g

接続図



1. CTはコンデンサ接続位置よりも負荷側に設置し、必ず付属のオープン防止プロテクタを取り付けてください。
2. 出力1, 2のリレー接点にはサージキラーなどは内蔵していませんので、必要に応じて外付けしてください。
   また、十分な容量の補助リレーを接続し、その接点でコンデンサを開閉するようにしてください。

外形図（mm）